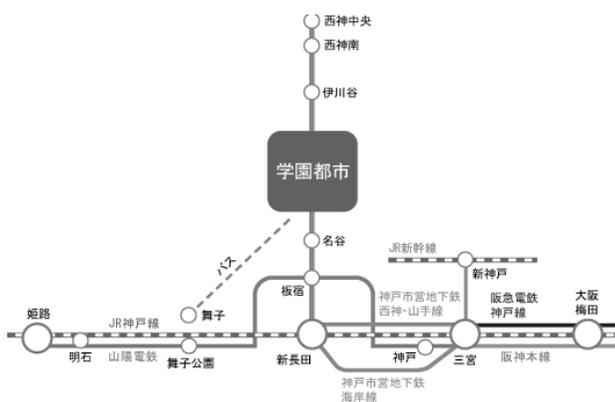


第 64 回全国研究大会開催校案内

流通科学大学

流通科学大学が位置する神戸市は、ポートアイランド沖に神戸空港、スーパーコンピュータ、先端医療研究機関などが集積するなど、震災からの復活を遂げています。流通科学大学は神戸市営地下鉄学園都市駅（新幹線新神戸駅より約25分、神戸の中心地、三宮から約23分、神戸空港から三宮まで約18分、大阪から三宮まで新快速約25分、京都から約1時間）から徒歩5分に位置します。大学キャンパス2棟からは淡路島、明石大橋を展望できます。また、周囲に兵庫県立大学、神戸市看護大学、神戸市外国語大学、神戸芸術工科大学、神戸市立工業高等専門学校が立ち並ぶ「神戸学園都市」の一角に位置しています。研究、教育の相互交流も行われています。

流通科学大学は、日本で初めて「流通」を専門に研究・教育する大学として中内功氏の提唱にもとづき1988（昭和63）年に開学しました。現在、「流通」「マーケティング」「実学」を研究教育の柱としています。



混乱の時代にあって、われわれがなすべきことは生産中心の社会を改革し、流通が主体性をもち、人間本位で、生活者のための社会を構築することであり、真っ向から流通に取り組み、生活者の立場に立った流通の在り方を、科学的に研究教育し、日本のみならず世界の人材を養成することが、真の流通革命を実現し人類に豊かな社会をもたらす大道と確信して建学されたのです。以来、生活者の立場に立った流通の科学的研究と、日本のみならず世界が必要とする人材の育成を目標に、産学の連携を基盤とするユニークな実践の学を研究しています。

開学時は商学部のみを設置でしたが、1992（平成4）年には情報学部が、1996（平成8）年に大学院流通科学研究科（博士前期・後期課程）が、そして2001（平成13）年にはサービス産業学部が開設され、2007年創立20周年を迎えました。2011年学部改組により、商学部、総合政策学部、サービス産業学部の1研究科3学部4学科（学部定員900名）を擁し、中心キャンパス約4万坪に、約4,000名が学んでいます。社会の現実に根差した「実学」を基本に、国際的人材の育成につとめ、広く社会に開かれた大学をめざし、新しい地域社会、日本の社会に、そして世界に必要な人材を送り出しています。